

科目名称	キャリアデザイン (水3)
授業コード	B0220
英語名称	Carrier Design I
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	高野 雅巳
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	感染症や気候変動、AIの登場や働き方の変化など、親世代の時代よりも先行きを見通しづらい現代においては、個々人が自分なりにキャリアを描いて主体的に選択することが必要になる。本講義では、内省および他者との対話を通じた自己理解、および業界研究などを通じた他者理解の上で、具体的な企業等を想定したインターンシップ応募のトレーニングや、社会人としてのマナーを身につけることを目標とする。講師からのレクチャーを踏まえて講義中の個人ワーク、学生同士のディスカッションも行うため、積極的な参加を求める。
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>担当講師 高野雅巳は、大手旅行会社グループで管理職として部下とのキャリア相談、社員教育、新卒採用面接官の経験を持つ。現職の専門学校では、キャリア系科目やビジネス教養科目の講義を担当、また学生の個別相談、キャリア・就活支援（エントリー シートの添削、面接対策）を行っている。他校の私立大学では、社会で活躍するために必要なホスピタリティ分野やサービスコミュニケーション分野の講義も担当している。</p> <p>これらの経験を活かし、自らのキャリアを主体的にデザインしてスキルを身に付けるためのワークを実施する。また、自身の描く未来を手に入れるために、実践的な視点から必要な心構えや準備の必要性を講義する。</p>
到達目標	カリキュラムポリシー「社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現するための科目を配置する。」に則り、キャリアを自ら考え主体的に行動する力を身につけること、中でもキャリアデザイン においては基礎的な素養に加え、インターンシップ応募・参加を想定した実践的なスキルを身につけることも目標とする。
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション（講師紹介、授業概要、評価方法など）</p> <p>第2回 キャリアとは、働くとは（なぜ働くのか、いま主体的に考える必要性について）</p> <p>第3回 キャリアデザインとは（人生100年時代におけるキャリアデザインについて）</p> <p>第4回 自己理解 自分の得意・強みを知る（過去を振り返り、行動の特長を言語化する）</p> <p>第5回 自己理解 自分の価値観を知る（価値観の幅を知る、選択の特徴を知る）</p> <p>第6回 自己理解 自分の望みを知る（今考えうる最高の未来を想像し、バックカastingで計画する）</p> <p>第7回 仕事理解 業界と職種、社会の産業構造について（身近な職業から社会全体のつながりを考える）</p> <p>第8回 仕事理解 日本・世界の雇用状況と労働者の権利について（身を守るための法律知識など） 中間レポート提出</p> <p>第9回 仕事理解 企業の採用活動と新卒採用市場について（採用とは、その中でも新卒採用とは）</p>

計画・内容	<p>第10回 就職活動に向けて 自己表現の訓練（アサーティブなコミュニケーション）</p> <p>第11回 就職活動に向けて スケジュールとタスクの管理（業務遂行力とは）</p> <p>第12回 キャリアデザイン実践 将来のキャリア目標（現時点での仕事面でのプランを言語化する）</p> <p>第13回 キャリアデザイン実践 在学中の過ごし方（ライフプランも含めた修正と今からできる行動への落とし込み）</p> <p>第14回 キャリアデザイン発表（グループ内でプラン発表、フィードバックを得る） 最終レポート</p> <p>第15回 総括と振り返り（全体の総括と最終レポートを元にディスカッション）</p>
授業の進め方	<p>本講義では、講師からのレクチャーに加えて個人でのワーク、グループでのワーク、また全体でのディスカッションなど双方向での学びの機会を作る。講義内および講義後の課題でレクチャーで学んだ事項の理解を深め、実践する。毎回、講義の最後にコメントシートを提出し、出席確認とともに、講義の感想、質問、気づきなどを記入し振り返りの機会とする。</p>
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通じて、インプットだけでなくアウトプットの時間を多く持つため、積極的な態度での参加が望まれる ・毎回、グループワークを行い対話を通じて自己理解・他者理解を深める ・グループでのディスカッション内容を全体に向けて発表する機会がある ・随時、講師から学生へのクイズや個別の質問を行う ・授業内でも個人で内省する時間をとり、その内容を隣の人と内容をシェアする時間を取るなどする
授業時間外の学修	<p>予習復習、レポート作成で60時間相当。</p>
教科書・参考書	<p>授業時に資料を配布し、教科書は用いない。参考図書は随時示す。</p>
成績評価方法と基準	<p>各回授業ごとのコメントシート（感想、質問を記入） 35%</p> <p>グループワークでの参加状況 25%</p> <p>中間・期末レポート 40%</p>
課題等に対するフィードバック	<p>毎回の授業の最後にコメントシートを配布し、授業の感想・質問を記入して提出する。コメントシートに書かれた内容について、次回授業の冒頭で取り上げ回答する。</p>
オフィスアワー	<p>講義前・講義後に講義室で対応する。（前後10分程度）</p>
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方：非対面となった場合は、Zoomを利用して講義、個人ワーク、グループワークを交えて講義を進める。（Zoom ブレークアウトルームを活用予定）</p> <p>成績評価方法と基準：基本的には対面の場合と同様。</p>